

クレスコ憲章

- 一.クレスコは人間中心、実力本位の会社である
- 一.クレスコは自由、若さ、夢を持つ会社である
- 一.クレスコは最高の技術を発揮する会社である
- 一.クレスコは皆が経営する会社である
- 一.クレスコは世界で生きる会社である

CRESCO

CRESCO REPORT 2010

第23期 事業報告書
2010.4.1.~2011.3.31

株式会社クレスコ
証券コード:4674

株主のみなさまへ



代表取締役会長 兼 社長、CEO

岩崎 俊雄

この度の東日本大震災で被災されたみなさまには、心からお見舞い申し上げますとともに、一日も早く復興されますようお祈り申し上げます。

当社では、被災されたみなさまへの支援、復興に役立てていただくため、グループ各社から合計1,300万円の義援金を募り、日本赤十字社を通じ、寄付させていただきました。当社企業グループにおきましては人的、物的被害とも特段ご報告すべきことはございませんでしたが、本震災による教訓を踏まえ、一層充実した危機管理に取り組んでまいります。

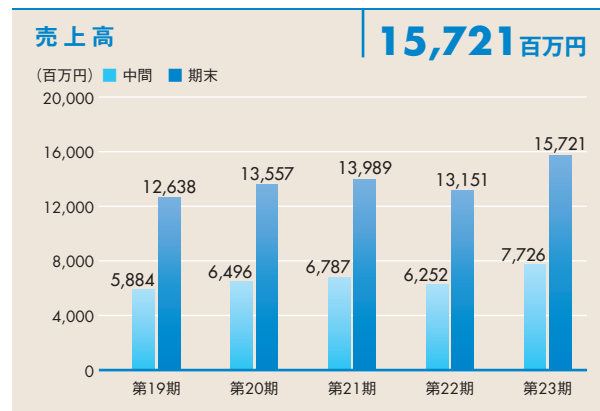
さて、ここに第23期(2010年4月1日から2011年3月31日まで)の事業報告書を作成いたしましたので、ご高覧いただきますようお願い申し上げます。

ご周知のとおり、昨今の情報サービス産業は、新たな競争ステージに突入しております。この荒波を乗り越えるべく、当期は「足固めの1年」と位置づけ、「利益の出る体質、体制への刷新」を基本方針に抜本的な改革を行ってまいりました。今後も当社企業グループ丸となって、多様化する市場ニーズや技術動向にスピーディーかつ柔軟に対応できるサービスをご提供し、更なる収益性の向上を目指してまいります。

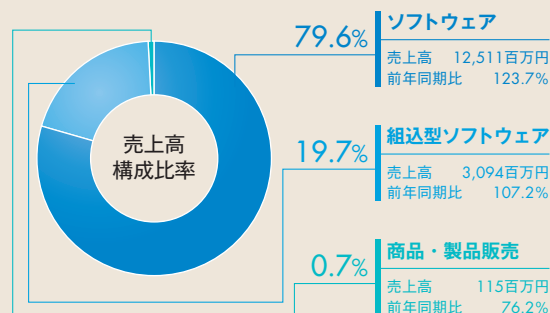
企業のメインITソリューションパートナーとして、お客様満足度No.1を目指し、みなさまからのご信頼とご期待にお応えしてまいりますので、なお一層のご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

連結業績ハイライト

当期のわが国経済は、実体経済は「回復基調」と言われながらも、市場自体は縮小傾向にあり、一部の産業分野で改善が見られたものの、国内の設備投資は慎重姿勢のまま推移いたしました。受託ソフトウェア開発を主力とする当社企業グループにとりましては、プロジェクト開始時期の先延ばしや更なる価格低減要請など、厳しい事業環境でありましたが、当期は次期中期経営計画に向けた足固めとなる重要な1年と位置づけ、活動してまいりました。この結果、当期の業績は、売上高157億21百万円(前年同期131億51百万円)、営業利益8億23百万円(前年同期2億72百万円)、経常利益10億51百万円(前年同期4億72百万円)、当期純利益6億13百万円(前年同期1億25百万円)となりました。



セグメント別売上高・構成比率

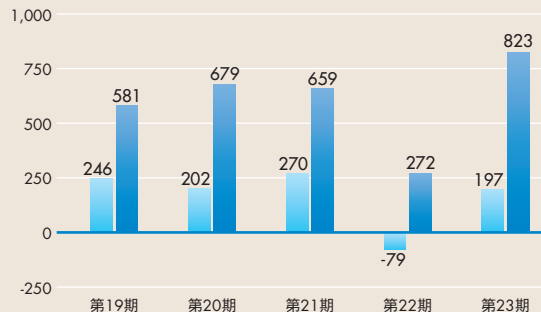


| 連結業績ハイライト

営業利益

823百万円

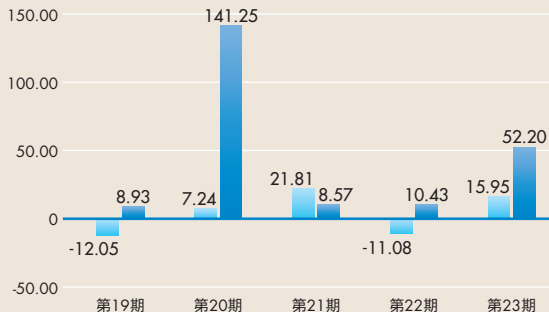
(百万円) ■ 中間 ■ 期末



1株当たり純利益

52.20円

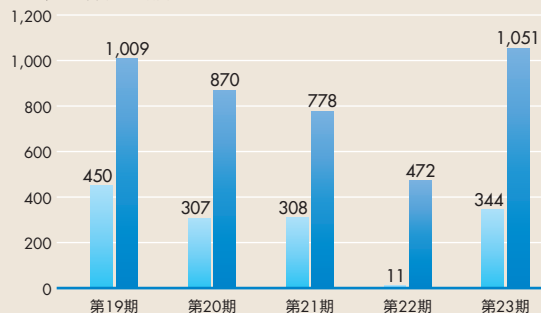
(円) ■ 中間 ■ 期末



経常利益

1,051百万円

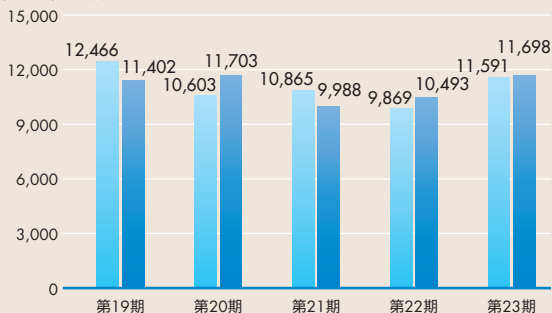
(百万円) ■ 中間 ■ 期末



総資産

11,698百万円

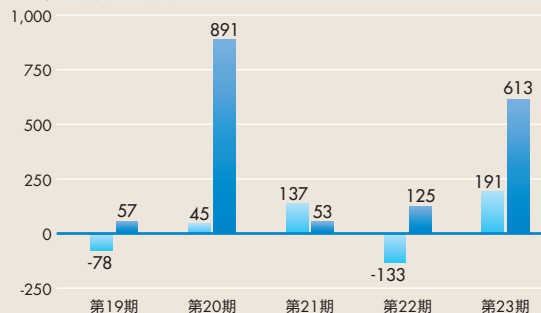
(百万円) ■ 中間 ■ 期末



純利益

613百万円

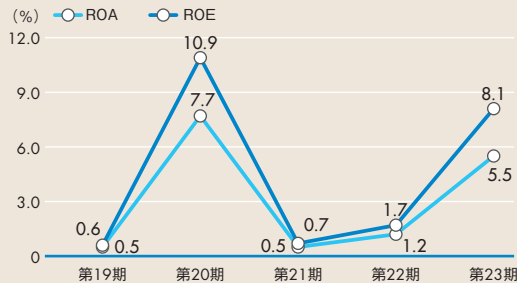
(百万円) ■ 中間 ■ 期末



ROA & ROE

ROA 5.5%

ROE 8.1%



連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位:百万円未満切捨)

	2009 2010年3月31日現在	2010 2011年3月31日現在
(資産の部)		
1 流動資産	5,428	6,208
2 固定資産	5,064	5,489
資産合計	10,493	11,698
(負債の部)		
3 流動負債	1,906	2,273
4 固定負債	1,020	1,751
負債合計	2,926	4,025
(純資産の部)		
株主資本	7,856	7,853
その他の包括利益累計額	△ 309	△ 204
少数株主持分	20	22
5 純資産合計	7,566	7,672
負債純資産合計	10,493	11,698

05

1 流動資産

7億79百万円
(前年同期比)

現金及び預金が4億63百万円、受取手形及び売掛金が1億53百万円増加し、1年内償還予定の銘柄を投資有価証券から有価証券へ2億2百万円振替えたことにより、前年同期に比べ、7億79百万円増加し、62億8百万円となりました。

2 固定資産

4億24百万円
(前年同期比)

投資有価証券が1億77百万円、長期性預金が1億円増加し、貸倒引当金のマイナスが52百万円減少したことにより、前年同期に比べ、4億24百万円増加し、54億89百万円となりました。

3 流動負債

3億67百万円
(前年同期比)

未払法人税等が2億3百万円減少したものの、短期借入金が60百万円、1年内返済予定長期借入金が2億64百万円、賞与引当金が1億23百万円増加したことにより、前年同期に比べ、3億67百万円増加し、22億73百万円となりました。

4 固定負債

7億31百万円
(前年同期比)

長期借入金が3億5百万円、退職給付引当金が2億69百万円、役員退職慰勞引当金が94百万円増加したことにより、前年同期に比べ、7億31百万円増加し、17億51百万円となりました。

5 純資産合計

1億5百万円
(前年同期比)

利益剰余金が4億32百万円増加、その他の包括利益累計額のマイナスが1億5百万円減少したものの、自己株式のマイナスが4億35百万円増加したことにより、前年同期に比べ、1億5百万円増加し、76億72百万円となりました。

連結損益計算書

(単位:百万円未満切捨)

	2009 2009年4月1日から 2010年3月31日まで	2010 2010年4月1日から 2011年3月31日まで
6 売上高	13,151	15,721
売上原価	11,465	13,268
売上総利益	1,686	2,453
販売費および一般管理費	1,414	1,629
営業利益	272	823
営業外収益	218	256
営業外費用	17	28
経常利益	472	1,051
特別利益	99	288
特別損失	270	520
税金等調整前当期純利益	301	818
法人税、住民税および事業税	300	225
法人税等調整額	△ 124	△ 22
少数株主損益調整前当期純利益	—	615
少数株主利益	△ 0	2
当期純利益	125	613

06

6 売上高

1. ソフトウェア開発事業

売上高は前年同期より23億98百万円増加し、125億11百万円となりました。当期は4月1日付にて、(株)アイオス、(株)インフィニードを完全子会社化しており、当該セグメントの業績に貢献しております。業種別の売上高を比較しますと、主力の金融分野は21億8百万円増加し、57億80百万円となりました。公共サービス分野では宅配便関連の伸びが鈍化した影響で35百万円の微増にとどまり、38億81百万円となりました。流通・その他の分野は、サービス業を中心に2億55百万円増加し、28億50百万円となりました。

2. 組込型ソフトウェア開発事業

売上高は前年同期より2億7百万円増加し、30億94百万円となりました。製品別の売上高を比較しますと、通信システム分野においては、スマートフォン等の開発需要の高まりを背景に69百万円増加し、9億66百万円となりました。カーエレクトロニクス分野では主力のカーオーディオ等が伸長し、2億21百万円増加の17億18百万円となりました。情報家電等、その他組込型分野につきましては、デジタルテレビ関連が減少し、前年同期を84百万円下回り、4億9百万円となりました。

3. 商品・製品販売

売上高は前年同期より35百万円減少し、1億15百万円となりました。セキュリティロッカーなどRFID関連製品や、Bluetooth製品等の販売が主なものです。

| 連結財務諸表

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円未満切捨)

	2009	2010
	2009年4月1日から 2010年3月31日まで	2010年4月1日から 2011年3月31日まで
7 営業活動によるキャッシュ・フロー	880	938
8 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 30	△ 687
9 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 173	△ 197
現金および現金同等物の増減額	676	52
現金および現金同等物の期首残高	1,717	2,393
現金および現金同等物の期末残高	2,393	2,446

7 営業活動によるキャッシュ・フロー

投資有価証券売却損益の調整が2億25百万円、仕入債務の減少が1億97百万円、法人税等の支払額が4億17百万円あったものの、税金等調整前当期純利益が8億18百万円となり、減価償却費の調整が1億68百万円、投資有価証券評価損の調整が3億6百万円、売上債権の減少が4億18百万円となったことにより、9億38百万円の収入(前年同期8億80百万円の収入)となりました。

8 投資活動によるキャッシュ・フロー

有価証券の売却による収入が13億42百万円、投資有価証券の売却による収入が6億4百万円あったものの、定期預金の預け入れによる支出が4億11百万円、有価証券の取得による支出が13億円、投資有価証券の取得による支出が7億43百万円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式取得による支出が1億92百万円あったことにより、6億87百万円の支出(前年同期30百万円の支出)となりました。

9 財務活動によるキャッシュ・フロー

長期借入れによる収入が8億円あったものの、短期借入金の返済による支出が3億42百万円、長期借入金の返済による支出が2億33百万円、自己株式の取得による支出が4億35百万円により、1億97百万円の支出(前年同期1億73百万円の支出)となりました。

配当方針

当社は、株主のみなさまに対する利益還元を経営の重要課題と位置づけており、株主資本の充実と長期的な安定収益力を維持するとともに、業績に裏付けられた適正な利益配分を継続することを基本方針としております。配当に関しましては、原則当社の経常利益をもとに特別損失を零(ゼロ)とした場合に算出される当期純利益の40%相当額を継続的に実現することを目指してまいります。

| トピックス

近距離無線通信分野の専門会社を設立


<http://www.cresco-id.com>

2011年4月5日、近距離無線通信技術を用いた情報通信設備機器等に関する設計・開発、製造、販売およびICタグ、リーダー／ライターへの輸出入等を行うことを目的として、100%子会社となるクレスコ・アイディー株式会社(資本金:1億円 本社:東京都千代田区 代表取締役社長 千葉大介)を設立いたしました。近距離無線通信技術は、ソフトウェアやハードウェアと組み合わせることで、商品の自動識別や所在管理、個人認証、追跡(トレーサビリティ)システム、履歴情報管理、物流管理など幅広く活用することができます。近距離無線通信分野の専門会社として、ユビキタスコンピューティングにおける有用なサービスを提供してまいります。

ホームページリニューアルのご案内

最新のIR情報や最新のニュース、過去の決算資料などがご覧いただけます。



最新のIR情報、
過去の決算資料

最新ニュース

<http://www.cresco.co.jp>

| 会社情報・株式情報

会社の概要

(2011年5月6日現在)

商号	株式会社クレスコ
設立	1988年4月
資本金	2,514百万円
従業員数	947名
本社所在地	〒108-6026 東京都港区港南2丁目15番1号 品川インターシティA棟26階 03-5769-8011
事業所	<ul style="list-style-type: none"> ■高輪センター 〒108-0074 東京都港区高輪3丁目13番1号 高輪コート5階 03-5423-6210 ■横浜センター 〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜2丁目3番19号 新横浜ミネタビル5階 045-474-0982 ■北海道開発センター 〒060-0003 北海道札幌市中央区北3条西3丁目1番地 札幌北三条ビル11階 011-200-5550
事業内容	<p>情報処理システムに関する</p> <ul style="list-style-type: none"> ■コンサルティングおよびソリューションサービス業務 ■設計、開発業務 ■運用管理、保守業務 ■調査、分析、評価および技術支援業務

役員

(2011年6月17日現在)

代表取締役会長	兼社長	岩崎俊雄
取締役副会長		熊澤修一
常務取締役		丹羽蔵王
常務取締役		根元浩幸
取締役		山田元夫
取締役		木村孝之
取締役		日高健一
取締役		高橋次二
取締役		水谷浩義
取締役		谷口恵
常勤監査役		波多腰茂
監査役		臼井義真
監査役		井手正介
監査役		井手秀明
監査役		戸田秀明

(注) 監査役臼井義真、監査役井手正介および監査役戸田秀明は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

連結子会社

(2011年4月5日現在)



クレスコ・イー・ソリューション株式会社
設立 1998年9月 資本金 2億円



ワイヤレステクノロジー株式会社
設立 2005年10月 資本金 5,000万円



株式会社クレスコ・コミュニケーションズ
設立 2006年4月 資本金 5,000万円



クレスコ・アイディー株式会社
設立 2011年4月 資本金 1億円



株式会社アイオス
設立 1989年6月 資本金 3億1,336万円



株式会社インフィニード
設立 2005年9月 資本金 1,700万円

株式の状況

(2011年3月31日現在)

発行可能株式総数	34,000,000株
発行済株式総数	11,096,176株
	(自己株式2,103,824株を除く)
株主数	3,406名

所有者別株式分布状況(自社保有分を除く)

(2011年3月31日現在)

内訳	株式数(11,096,176株)	株主数(3,405名)
個人・その他	7,283,591株 (65.6%)	3,305名 (97.1%)
金融機関(銀行)	0株	0名
(信託銀行)	666,340株	18名
(生命保険会社)	147,840株	6名
(損害保険会社)	0株	0名
(その他金融機関)	0株	0名
(計)	814,180株 (7.3%)	24名 (0.7%)
金融商品取引業者	35,734株 (0.3%)	21名 (0.6%)
外国法人等	228,467株 (2.1%)	32名 (0.9%)
その他の法人	2,734,204株 (24.7%)	23名 (0.7%)

大株主

(2011年3月31日現在)

株主名	持株数(百株)	議決権比率(%)
有限会社イワサキコーポレーション	27,054	24.53
浦崎 雅博	14,818	13.43
岩崎 俊雄	10,229	9.27
佐藤 和弘	5,990	5.43
クレスコ従業員持株会	5,308	4.81
田島 健司	4,448	4.03
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,407	1.27
波多腰 茂	1,228	1.11
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	819	0.74
CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	705	0.63

(注) 当社の自己株式(21,038百株)は議決権がないため、上記の表には含めておりません。

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL.0120-232-7111(通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	日本経済新聞に公告いたします。

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。
なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店でお支払いいたします。

